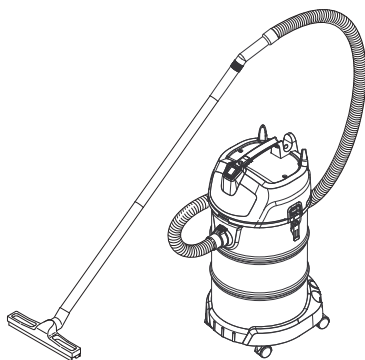
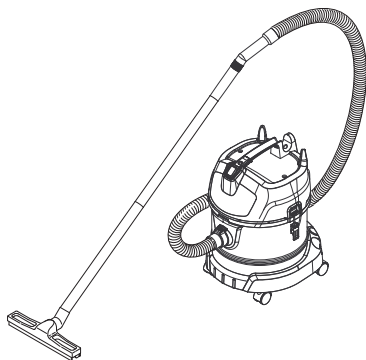


# KÄRCHER

NT 20/1 Me Classic

NT 38/1 Me Classic



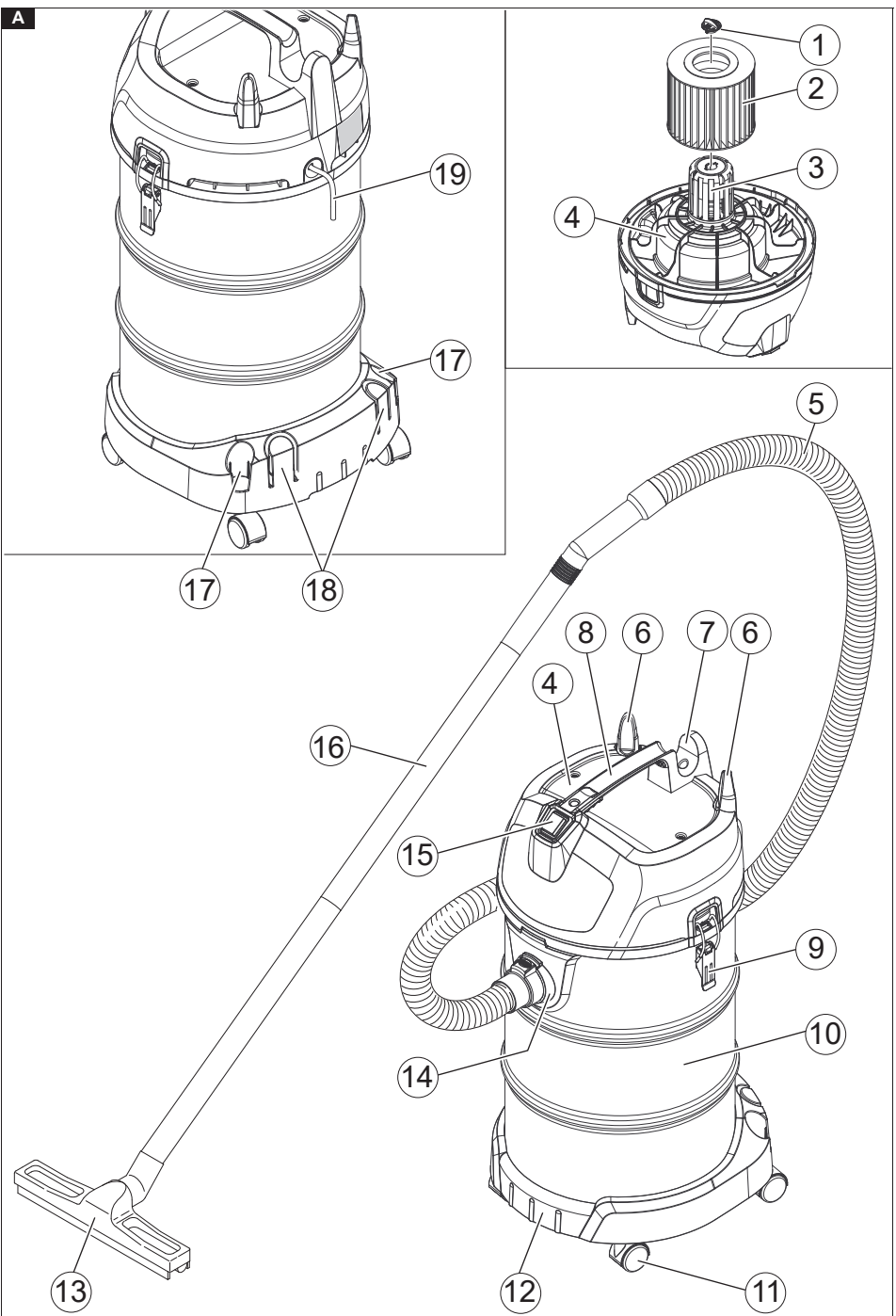
**Register  
your product**  
[www.kaercher.com/welcome](http://www.kaercher.com/welcome)

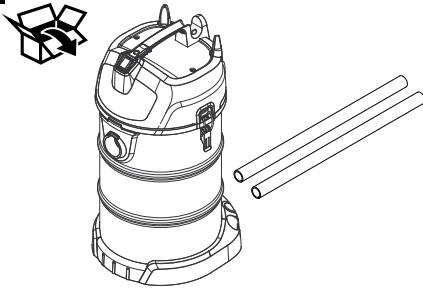
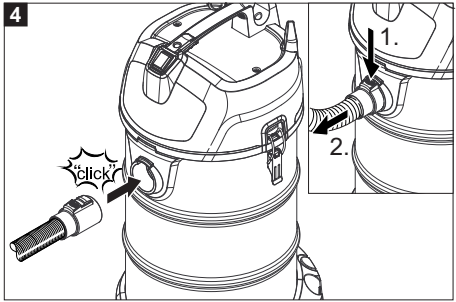
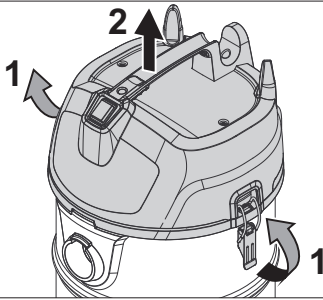
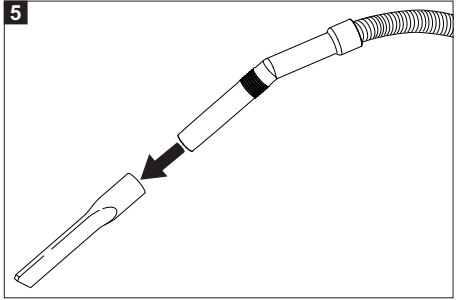
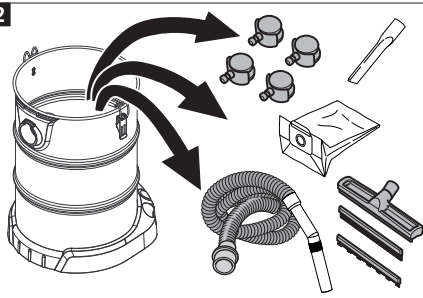
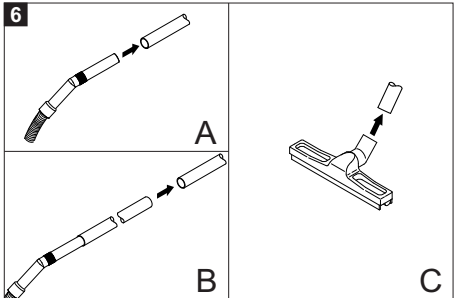
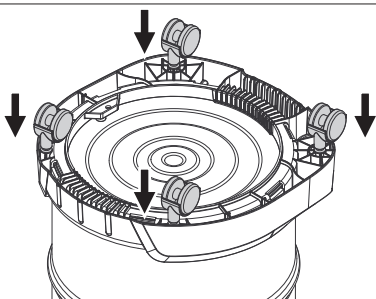


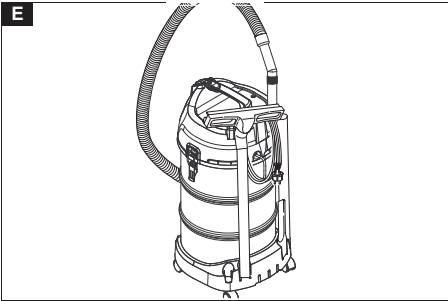
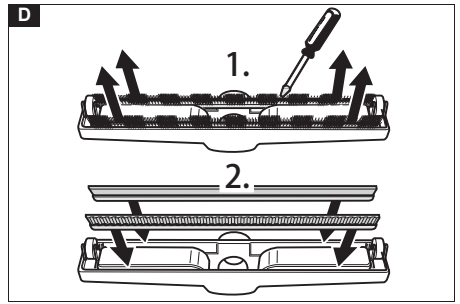
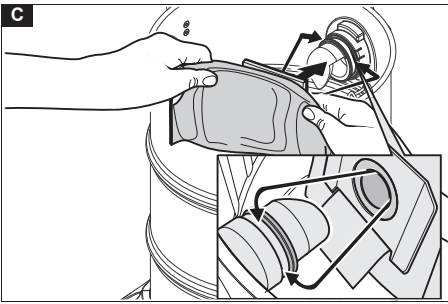
97711590

(06/22)

A



**B****4****1****5****2****6****3**



## 目次

安全についてのご案内 乾湿両用掃除機	5
環境保護	7
使用目的について	7
機器に関する説明	7
準備	7
機器の準備	7
操作	8
搬送	8
保管	8
手入れとメンテナンス	8
故障かな?と思ったら	8
保証	8
アクセサリとスペアパーツ	8
技術データ	9

## 安全についてのご案内 乾湿両用掃除機



機器を使用する前に、この取扱説明書の注意事項と記載事項をよく読み、記載に従ってご使用ください。本製品に

同梱されている取扱説明書は、いつでも閲覧できるように大切に保管してください。

- 取扱説明書内の記載の他に、一般的な安全要綱/事故防止規定を順守してください。
- 機器に貼られている警告・注意マークは、機器を安全に使用するための重要な情報を示しています。

## 安全上のご注意

### △ 危険

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い危険事項が記載されています。

### △ 警告

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性がある警告事項が記載されています。

### △ 注意

- この注記は機器の誤った取り扱いにより、使用者が傷害を負う可能性がある注意事項が記載されています。

### 注意

- この注記には、機器の誤った取り扱いにより、物的損害につながる可能性がある事項が記載されています。

## 個人用保護具

### △ 注意

- 機器を操作するときは、適切な手袋を着用してください。

## 一般的な安全に関する注意事項

### △ 危険

- 機器を改造しないでください。火災、感電、けがの原因になります。
- 窒息の危険があります。包装用フィルムは子供の手の届かないところに保管してください。

### △ 警告

- 本来の用途以外には機器を使用しないでください。操作するときは、周囲の状況を確認し、特に子供が周囲にいないか注意してください。

- この機器は、身体的、感覚的、精神的な能力に制限がある人、または経験や知識が不足している人による使用を前提としていません。
- 機器の使用方法を指示された人、本取扱説明書の内容を理解した人が機器を使用してください。
- 子供に機器を使用させないでください。
- 子供が機器で遊ばないように管理してください。

### △ 注意

- 安全装置は使用者を保護するためのものです。安全装置を改造したり無効にしたりしないでください。

### 注意

- 機器を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。故障、破損の原因になります。

## 感電の危険

### △ 危険

- 保護クラスI機器は正しくアースされた電源に接続してください。
- 銘板に記載されている電圧以外の電源に接続しないでください。
- 濡れた手でコンセント差込口や電源プラグには絶対に触れないでください。

### △ 警告

- 機器は、電気技師がIEC60364-1に準拠して設置したコンセントにのみ接続してください。
- 機器から泡や液体が漏れだしてきた場合は、すぐに機器のスイッチをオフにして、電源プラグを抜いてください。
- 機器本体や電源プラグに水をかけないでください。感電の原因になります。
- 電源ケーブルを引っ張らないでください。電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。ケーブルが壊れて感電やショートを起こし火災の原因になります。
- 電源プラグを確実にコンセントに接続してください。接続が不十分な場合、ショートし発火の原因となります。
- スイッチを入れたまま電源プラグの脱着をしないでください。
- 雨天時に屋外で使用しないでください。絶縁、劣化により感電する場合があります。
- 機器を使用する前に、必ず電源コードと電源プラグが破損していないか確認してください。破損している電源コードは、業務用製品コールセンターに修理を依頼して交換してください。
- 電源コードや延長コードの上に重い物を置いたり、乗り上げたり、押しつぶしたり、引っ張ったりなどして、損傷を与えないようにしてください。電源コードを高温の熱、オイル、鋭利なものから保護してください。
- 電源コード交換時を含め、メーカーが指定する電源コード以外は使用しないでください。
- たこ足配線をしないでください。本機を含む複数の電気製品を同じコンセントで使用した場合、コンセントが発火し火災や感電の原因になります。

### 注意

- スイッチをオンにすると、一時的に電圧が低下します。
- 電源の状態が悪いと、他の機器が故障する可能性があります。
- ネットワークインピーダンスが0.15Ω未満の場合は、安定した動作が期待されます。

**△ 危険**

- 危険区域(ガンリンスタンドなど)で機器を使用する場合は、その区域の安全規則を順守してください。
- 爆発の危険性がある場所での本機器の使用は禁止されています。取扱説明書の「使用目的について」を参照してください。
- 爆発の危険性について。一部の物質を吸引すると、乱気流により爆発性の蒸気や混合ガスが形成される恐れがあります。また、機器内の部品を腐食させる可能性もあります。
  - 可燃性のガス、可燃性の液体、粉塵(反応性粉塵)を本機器で吸引しないでください。取扱説明書の「使用目的について」を参照してください。
  - 反応性金属粉塵(アルミニウム、マグネシウム、亜鉛など)を、強いアルカリ性洗剤や酸性洗剤と一緒に吸引しないでください。
  - 食塩水や酸を吸引しないでください。
  - 有機溶剤(ガンソリン、塗料シンナー、アセトン、加熱油など)を吸引しないでください。
  - 燃焼またはくすぶっている物体/物質を吸引しないでください。

**△ 警告**

- 人や動物の清掃に使用しないでください。
- 人体に有害な粉塵を本機器で吸引しないでください。取扱説明書の「使用目的について」を参照してください。
- 汚染された可能性のある場所を清掃する場合はマスク等適切な防護具を身に付けてください。汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

**△ 注意**

- 作業中に疲労感が生じた場合は作業を中断または中止してください。体調を崩す場合があります。
- 操作の前に、必ず機器本体とアクセサリー、特に電源コードと延長コードをチェックして、安全で正しく機能していることを確認してください。損傷があった場合は電源プラグを抜いて、機器を使用しないでください。
- 機器の電源をオンにしたまま、または電源プラグを接続したままで機器を放置しないでください。
- 45°Cより高温の液体を吸引しないでください。

**注意**

- 0°C未満の環境で機器を使用しないでください。
- 低温の屋外で機器を使用しないでください。
- 冷却水や潤滑油の吸引に本機器を使用するときは、適切な装置を装着したうえで行ってください。
- 汚水や排水・ゴミの廃棄は関連法規・地方自治体の基準に従い適切に処理してください。事前に処理方法を確認してください。
- 操作の前に、吸引ホースや吸引パイプにゴミ詰まりが無いか確認してください。
- 電源ケーブルの巻き取りは本体側から巻き取ってください。ケーブルの断線、ねじれを防止することができます。

**△ 危険**

- 健康に有害な粉塵による危険があります。メンテナンス作業(フィルター交換など)を行う場合は、クラスP2以上の呼吸保護マスクと使い捨ての衣服を着用してください。
- 吸引した物質の安全な廃棄方法を含め、機器および物質の使用は、訓練を受けた担当者のみ許可されています。
- 室内で本機器を使用する場合、一定の空気交換率Lが必要で、必要な空気交換率を保つには、本機器から排気される体積流量が新鮮な空気体積の50%以下である必要があります(室内容積 VR × 空気交換率 LW)。特別な換気方法を用意できない場合は、以下のようになります。LW= 1h-1
- 本機器の使用後は、健康に有害なゴミ・ホコリが本機内に含まれている可能性があります。集塵袋の取り外しやタンクを空にするなどのメンテナンス作業は、適切な保護具を着用した専門技術者のみが行ってください。
- フィルター類を全て装着した状態でのみ、機器を操作してください。
- 吸引する物質に応じた、安全上の注意事項を順守してください。
- ユーザーが保守作業を行うときは、保守担当者やその他の人に危害を加えない範囲で、機器の分解や清掃などのメンテナンス作業を行ってください。適切な予防措置として、分解前には消毒を行ってください。機器を分解する場所は、十分換気されており、メンテナンスを行う場所は、清掃されていることなど、作業者を適切に保護するための対策を実施してください。
- 危険な場所から機器を搬送する際は、機器の外装を清掃・消毒してから搬送するか、密封してから搬送してください。危険な場所にあった部品は、汚染されている可能性があります。ゴミ・ホコリの散乱を防ぐため、適切な対策を講じる必要があります。
- メンテナンス・修理作業により生じた汚染物で十分な洗浄ができないものは、すべて正しく廃棄しなければなりません。このような廃棄物は、該当する廃棄規制に従って、密封された袋に入れて廃棄する必要があります。
- 粉塵クラス M および H のみ: 運搬や修理の際は、吸引口に栓をしてください。
- 粉塵クラス H のみ: 機器のフィルタリングの有効性は、EN 60 335-2-69 22.AA.201.2 で規定されている方法でテストできます。このテストは、少なくとも年に1回、または国の要件で指定されている場合はそれ以上の頻度で実施する必要があります。テストの結果が不合格な場合、新しいフラットフォールドフィルターで再度テストしてください。

**△ 警告**

- 危険防止のための安全装置は、少なくとも年に1回、メーカーまたは適切な指示担当者によって、漏れがないか、フィルターが損傷していないか、監視装置が機能しているか(粉塵クラス M および H のみ)など、適切な安全関連機能を確認する必要があります。

## お手入れとメンテナンス

### ⚠ 警告

- 機器の清掃、メンテナンス、部品交換の前に、機器のスイッチをオフにし、電源プラグを抜いてください。機能の切り替えの前に、機器のスイッチをオフにしてください。

### ⚠ 注意

- 修理は、関連するすべての安全指示に精通している、この分野で資格のある承認されたカスタマーサービスまたはスタッフのみが実行できます。
- 水量を監視する装置は定期的に清掃し、損傷がないか確認します。

### 注意

- お使いの地域の規制に従い、産業用携帯デバイスの安全検査を行ってください。
- メンテナンスを行う前にタンク内の吸引物を廃棄・排水してください。
- 短絡や故障の恐れがあります。ホースまたは高圧洗浄機を使った水洗いで機器を清掃しないでください。

## アクセサリとスペアパーツ

### ⚠ 注意

- 純正のアクセサリおよび純正のスペアパーツのみ使用してください。これにより機器を安全にトラブルなくご使用できます。

## 搬送

### ⚠ 注意

- 輸送前にモーターを停止してください。重量を考慮して、機器を固定します。取扱説明書の「技術データ」を参照してください。

## 環境保護



梱包材はリサイクル可能です。各自治体の規定に沿ってリサイクル処理してください。



電気・電子機器には、バッテリー・バッテリーパック・オイルなど、誤って取り扱ったり廃棄したりすると人間と環境に危険を及ぼす可能性がある部品が含まれています。これらは機器が適切に機能するために必要な構成要素です。このマークが表記されている機器は、各自治体の規定に従って廃棄してください。

### 機器の材料に関する注意事項 (REACH)

本機に使用されている物質については以下のサイトで確認できます。

<https://www.kaercher.com/jp/corporate/sustainability/supplychain-products.html>

## 使用目的について

### ⚠ 警告

#### 健康上の危険性

健康に有害なゴミ・ホコリの吸引

健康に有害なゴミ・ホコリの吸引には本機器を使用しないでください。

- 床面や壁面のウェット・ドライクリーニングに対応した掃除機です。
- この機器は、建設現場、工場、ワークショップ、レンタル会社などの業務用に適しています。

## 機器に関する説明

### イラストA

- ① 固定ノブ
- ② 筒型フィルター
- ③ フロア
- ④ 本体上部
- ⑤ 吸引ホース+ベンディングパイプ
- ⑥ コードフック/ベンディングパイプホルダー
- ⑦ ホース/コードホルダー
- ⑧ ハンドル
- ⑨ ラッチ
- ⑩ タンク
- ⑪ キャスター
- ⑫ シャーシ
- ⑬ フロアノズル
- ⑭ 吸引ホース接続口
- ⑮ 電源スイッチ
- ⑯ 吸引パイプ
- ⑰ パイプホルダー (細)
- ⑱ パイプホルダー (太)
- ⑲ 電源コード

## 準備

1. 機器を開梱し、アクセサリを取り付けます。

### イラストB

## 機器の準備

### 注意

細かいゴミ・ホコリが引き起こす危険性について吸引モーターが損傷するおそれがあります。吸引中に筒型フィルターを外さないでください。

## 乾いたゴミ・ホコリを吸引するとき

- ・筒型フィルターを常に使用してください。
- ・ブラシが取り付けられていることを確認してください。

## フィルターバッグを取り付ける

1. ラッチを解除し、本体上部を取り外します。
  2. フィルターバッグを取り付けます。
- ### イラストC
3. 本体上部をはめこみ、ラッチで固定します。

## 湿ったゴミ・ホコリや液体を吸引するとき

- ・乾湿両用筒型フィルターを常に使用してください。

## スクイジーを取り付ける

1. ブラシを取り外します。
- ### イラストD
2. スクイジーを取り付けます。

### 注意事項

細かい溝が入っている面が外側を向くように取り付けてください。

## フィルターバッグを取り外す

- ・湿ったゴミ・ホコリや液体を吸引するときは、必ずフィルターバッグを取り外してください。

## 操作

### 電源をオンにする

1. 電源プラグを接続します。
2. 電源スイッチをオンにします。

### 清掃

1. 清掃します。

### タンクを空にする

- 本体上部にはフロートが内蔵されています。
  - タンク内の汚水が許容量を超えると、吸引が止まります。
1. 電源スイッチをオフにします。
  2. ラッチを解除し、本体上部を取り外します。
  3. タンクを空にします。

### 電源をオフにする

1. 電源スイッチをオフにします。
2. 電源プラグを抜きます。

### 使ったあとは

1. タンクを空にします。
2. 機器についてゴミ・ホコリを吸引したあと、湿った布で拭きます。

### 保管する

1. 図に示したように吸引パイプ、吸引ホース、電源コードを本体に装着します。

#### イラスト

2. 乾燥した部屋に、不正使用されないように保管します。

#### 注意

- コンテナ内部はいつもきれいな状態で保管してください。汚れたまま保管した場合、悪臭が発生する場合があります。
- 作業終了後は必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いた状態で保管してください。

### 搬送

#### △ 注意

#### 機器運搬時の転倒・転落を防止する

怪我や故障のおそれがあります。運搬するときは、機器の重量に注意してください。

1. 図に示したように機器を搬送します。

#### イラスト

2. 車載時は、関連するガイドラインに基づいて、機器を確実に固定し、滑りや転倒を防ぐよう留意してください。

### 保管

#### △ 注意

#### 機器保管時の転倒・転落を防止する

怪我や故障のおそれがあります。保管の際には機器の重量に注意してください。この機器は必ず屋内で保管してください。

### 手入れとメンテナンス

#### △ 危険

#### 感電の危険性

可動部に触れて怪我をするおそれがあります。機器の電源をオフにしてください。電源プラグを抜いてください。

### 筒型フィルターを交換する

1. ラッチを解除し、本体上部を取り外します。
2. 本体上部を上下逆さまにして、床に置きます。
3. 固定ノブを外します。
4. 筒型フィルターを取り外します。
5. 新しい筒型フィルターを装着します。
6. 固定ノブをはめ、筒型フィルターを固定します。
7. 本体上部をはめこみ、ラッチで固定します。

### 故障かな?と思ったら

#### △ 危険

#### 感電の危険性

可動部に触れて怪我をするおそれがあります。機器の電源をオフにしてください。電源プラグを抜いてください。

#### 吸引タービンが起動しない

1. コンセント差込口、ブレーカーを確認します。
2. 電源コードと電源プラグを確認します。
3. 電源をオンにします。

#### 吸引タービンは起動するが、吸引しない

フロートが吸引ダクトを塞いでいます。

1. タンクを空にします。

#### 吸引力が落ちる

1. フロアノズル、吸引パイプ、吸引ホース、筒型フィルターのつまりを取り除きます。
2. ゴミ・ホコリでいっぱいになったフィルターバッグを新しいものに交換します。
3. 筒型フィルターを交換します。

#### 吸引時にゴミ・ホコリが漏れ出す

1. 筒型フィルターがきちんとはまっているか確認します。
2. 筒型フィルターを交換します。

### カスタマーサービスに問い合わせる

不具合を解消できない場合は、業務用製品コールセンターにお問い合わせください。

### 保証


保証書は日本国内でのみ有効です。保証期間中は、製造上の欠陥が原因とみられる故障に関しては無料で修理を致します。保証請求の際は、必ず販売日を証明するものをご提示ください。

消耗品や正常劣化・寿命の場合、また販売日を証明する書類のご提示がない場合は、有償となります。ユーザー登録をして頂くと、製品(アクセサリパーツ、洗浄剤を除きます)の保証期間が2年に延長されます。

### アクセサリとスペアパーツ

純正のアクセサリのみ使用してください。本機を安全にトラブルなくご使用できます。アクセサリやスペアパーツに関する詳細については、ケルヒージャパンホームページをご覧ください。  
<https://www.kaercher.com/jp/>

## 技術データ

		NT 20/1 Me Classic	NT 38/1 Me Classic
<b>電源仕様</b>			
電圧	V	100	100
相	~	1	1
周波数	Hz	50-60	50-60
保護等級		IPX4	IPX4
保護クラス		II	II
定格電力	W	1100	1100
最大電力	W	1300	1300
<b>機器のデータ</b>			
タンク容量	L	19	36
汚水回収容量	L	12	29
吸引風量(最大、吸引モーター)	L/秒	56	56
吸引風量(最大、吸引ホース)	L/秒	36	36
真空度(最大、吸引モーター)	kPa (mbar)	22(220)	22(220)
真空度(最大、吸引ホース)	kPa (mbar)	17,3 (173)	17,3 (173)
<b>寸法と重量</b>			
標準作業時の重量	kg	8,3	10
長さ×幅×高さ	mm	380 x 365 x 520	380 x 365 x 735
吸引ホース径	mm	35	35
<b>環境条件</b>			
周囲温度(最高)	°C	+40	+40
<b>電源コード</b>			
電源コードタイプ	mm <sup>2</sup>	VCTF 2x1.25	VCTF 2x1.25
コードの長さ	m	7,5	7,5

技術的な変更が行われることがあります。

# 保証書

## 保証規定

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万が一不具合が生じた場合はこの保証規定に従い無償修理いたします。  
本書の再発行は行いません、紛失しないよう切り取り大切に保管してください。

## 保証の内容

お買い上げいただいた製品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、これを無償修理いたします（この無償修理を保証修理といいます）。  
保証修理は部品の交換あるいは補修により行ないます。また取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

## 保証期間

保証期間は製品を新品でご購入いただいた日から1年です。  
但しご購入から1ヶ月以内にケルヒャーユーザー登録をいただいた場合に限り、保証延長が適用され、保証期間はご購入いただいた日から2年となります。  
ケルヒャーユーザー登録方法は弊社ウェブサイトをご覧ください。  
※温水高圧洗浄機のステンレス製ヒートコイルのみご購入日から3年間の保証となります。

## 保証できない事項

お買い上げ頂いた機種に該当しない事項も記載されています。

### ■次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理いたしません。

- ・ 本書面その他購入時に製品に付属する説明書類（取扱説明書を指すがこれに限らない）に反する使用
- ・ 保守整備の不備または使用方法の間違い（日常点検をしていない場合）
- ・ 弊社が提示している仕様の限界を超える使用（例：電力異常による損傷、燃料異常による損傷、凍結させた場合の損傷、ホースの亀裂など）
- ・ 弊社が認めていない改造
- ・ 純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ ご使用者の不注意によるケガおよび故障

### ■次に示すものは保証修理いたしません。

- ・ 消耗品（油脂、ノズル、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ベルト、ギア、ブラシ、パッド、バッテリー、タイヤおよびこれらに類する消耗品）
- ・ 経年変化により発生した不具合（錆び、塗装、プラスチックの自然退色、ホースのひび割れ、安全バルブ、電装部品など）
- ・ 使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象（音、振動、微量な水もれ、オイルのにじみなど）
- ・ 台風、水害、雪害などの天災による不具合、故障
- ・ 薬品、塩害などに起因する不具合、故障
- ・ 水質などに起因する詰まり、劣化、消耗、傷

### ■次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・ 清掃、点検、調整、定期点検整備、保証修理以外で使用した部品、輸送費、宿泊費、出張費など
- ・ この保証書に示す条件以外の費用補修など
- ・ 本機を使用できなかったことによる不ばさおよび損失など（休業損失、商業損失など）
- ・ 洗浄対象物に損傷、破壊、変色などが生じた場合の補修費用
- ・ 正しく操作をせずに負ったケガの治療費用

保証の適用

この保証書と、販売店からの納品書または領収書をご提示ください。

ご提示いただけない場合、保証は適用出来ません。

この保証は、日本国内で使用される弊社製品のみ適用されます。

海外へ持ち出す場合、また海外で使用したことによる不具合・故障は保証の適用といたしません。

保証修理の受け方

修理を希望される場合業務用製品コールセンターにお申し付けください。

保証適用可否の判断は、ケルヒヤー ジャパンのエンジニアによる検査後にご連絡いたします。

出張サービス適用とならない機種（動力が単相100V機など）もございます。

その場合は製品を送付いただくことになりますので予めご了承ください。

機種名	
シリアル番号 (製造番号)	
会社名	
ご担当者名	
日中通じる 電話番号	
FAX番号	
郵便番号	-
ご住所	都・道・府・県
	丁目                      番地                      号



# THANK YOU!

MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!

## ■ ユーザー登録で1年保証を2年に延長できます。

品質に自信があるからこそその長期保証。

お客様に安心してお使いいただくためのアフターサービスを提供しています。

ユーザー登録をしていただくことで、製品の保証期間を2年に延長いたします。

※ご購入後30日以内に、当社ホームページからユーザー登録が必要です。

期間を過ぎてからの登録は対象外とさせていただきます。

※アクセサリ、パーツ、洗浄剤を除きます。

下記URLまたはQRコードで、当社ホームページからお申し込みいただけます。

[https://www.kaercher.com/jp/service/support\\_pro/registry.html](https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html)

登録ユーザー限定

**2年**<sup>※</sup>

業務用製品

**保証**

Webからのユーザー登録はこちら



## ■ 製品のご用命、仕様、修理に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター

**TEL : 045-777-7410 FAX : 045-777-7411**

受付時間：9:00～17:00 月曜～金曜日(祝日、当社休日を除く)

※修理のお申し込みは、下記URLまたはQRコードで当社ホームページからもお申し込みいただけます。

[https://www.kaercher.com/jp/service/support\\_pro/repair\\_menu.html](https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html)

Webからの修理申し込みはこちら

